

(様式1)

授業科目 言語学Ⅰ

科目コード番号

| | | | | |
|-----------------|------|----|-------|----|
| 【担当教員名】 福田一雄 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 言語 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【概要及び学習目標】

<概要>
 言語学の基礎的な考え方、言語研究の歴史を概観し、言語学の各領域を解説する。まず言葉の研究とはなにかを考える上で、言語観の移り変わりを取り上げる。それは、同時に言語研究の歴史を振り返ることになる。最後に現代言語学の研究領域・研究分野を解説する。
 出席、および授業中の意見発表、質疑応答などにおける積極的授業参加を重視する。

<学習目標>
 ・言語学の入門的知識を身につける。
 ・言語学、言語観の史的展開についての知識を得る。
 ・現代言語学の研究分野について理解する。

| 回数 | 学習の主題 | 学習内容 | 学習方法 |
|----|------------|------------------------------------|-------|
| 1 | 導入 | 言葉とは何か？学生諸君の「言葉」についてのイメージを話してもらおう。 | 対話と講義 |
| 2 | 言語観(1) | ヨーロッパの言語観とアジアの言語観について学ぶ。 | 講義 |
| 3 | 言語観(2) | 構造主義と生成文法の考え方を比較する。 | 講義 |
| 4 | 言葉の特徴(1) | 言語の恣意性と文節性について学ぶ。 | 講義 |
| 5 | 言葉の特徴(2) | 言語能力と言語運用の違いについて学ぶ。 | 講義 |
| 6 | 言語学の諸分野(1) | 形式中心的言語研究（主として、チョムスキーのアプローチ）について。 | 講義 |
| 7 | 言語学の諸分野(2) | 機能主義言語学、談話文法、語用論の基本的な考え方を学ぶ。 | 講義 |

【評価方法】
 出席、レポートなどを総合して評価する。

【履修上の留意点】

【使用図書】

| 教科書・参考書等 | 書名等 | 著者名 | 発行所 | 発行年・価格・その他 |
|----------------|------------|-----|-----|------------|
| 教科書 | | | | |
| 参考書 | 授業中に適宜紹介する | | | |
| その他 (プリント等) | | | | |